

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第65号

発行／いずみ会 編集／いずみ会会報部
 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
 事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
 ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com



主 な 記 事

- 2・3 評議員会
- 4～7 母校
- 8～11 緑蔭
- 10・13 ホームページ投稿記事
- 12 会計から・寄付者一覧
- 14 声・計報
- 15 お知らせ
- 16 総会案内

つながっていること！

会長 荒井 眞理子



コロナ禍の大変な時期ではありますが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。いずみ会ではその活動が制限される中、書面による評議員会・会報の発行・新入会生の登録等を実施、さらに理事会活動の細部の整備点検

を試みています。また、総会への実施準備を進めておりましたが、コロナ感染者数の激増の現状から、総会開催予定の皆様の安心・安全の確保が難しいと判断し、残念ながら今年度も中止を決定いたしました。来年こそ笑顔でお目にかかれることを切望します。

オンラインの活用も広がる昨今、いずみ会も過去を活かしつつ、現実に対応する変化・工夫をもって成長していかなければなりません。そのために大切なことは会員が「つながっている」こと。総会や評議員会への出欠回答を必ず返信する、これだけでも会と十分つながっていきます。そして同期会の開催・OBOG会など、参加の範囲、小さなつながりを少しずつ広げましょう。「こんなことやりたい！こんなことができます！これ手伝えます！」小さなことでも構いません、新鮮な発想を積極的に発信してください。

次年度は役員の改選もあります。とりわけ高30期以降の方々には同窓会を生涯活動の新しい場面として視野に入れていただき、少しの時間をいずみ会へご提供いただければ嬉しいですし、それは今後のいずみ会への大きな栄養となります。育てていかないと「いずみ会」という大きな樹も枯れてしまいます。根っこがしっかりと支えますので、若いエネルギーを惜しまずにどんどん投入してください。つながっていればきっと楽しみも広がります。いずみ会の発展は会員の皆様の手にゆだねられています！どうぞよろしくお願いいたします。

本年度総会

残念ながら2021年度の総会・ホームカミングデー・懇親会は中止といたします。

来年はいずみ会役員改選の年

いずみ会選挙管理責任者 山本 孝文

現在のいずみ会役員は、令和3年度末を以って任期満了となります。いずみ会役員（任期2年）は、いずみ会会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与するため、理事会等の会合を通して、事業・予算を検討・策定の上、執行します。

次期役員候補者には、現在各期から選出された評議員の方、同期から推薦を受けた方が望ましく、特に若い期の方の立候補・推薦を大いに期待します。選挙要項は以下の通りです。

1. 次期いずみ会役員の選任は、来年度定時評議員会（令和4年5月若しくは6月開催予定）において行います。
2. 立候補届および推薦届の受付期間は、令和3年10月1日から令和4年1月31日までとします。
3. 立候補届・推薦届（電子媒体の場合、Wordで作成）は、下記事項を明記の上、第5項記載の送付先に郵送または電子メールに添付して、送信して下さい。ただし、記載もれがある場合、無効となることがありますので、ご注意ください。また、Faxによる受付はありません。
4. 立候補届・推薦届の受理・確認は、令和4年2月中に実施します。
5. 送付先 〒174-0065 板橋区若木一丁目27-1-606
いずみ会選挙管理責任者 山本孝文
電子メール：ma.potto.1227@jcom.home.ne.jp

《届出に明記する事項》

- ① 立候補または推薦する役職名（会長・副会長・理事・監査役）
- ② 立候補または被推薦者本人の氏名・期・住所・電話番号・電子メールアドレス
- ③ 推薦届の場合には、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・電子メールアドレス
- ④ 立候補または推薦の理由（200字以内）

※いずみ会役員選挙に関するお問い合わせ、ご相談は、上記いずみ会選挙管理責任者山本孝文までお尋ね下さい。

72期の皆様、
新成人の集いを計画しています

評議員会報告

事務局長 山川 新

5月8日～5月31日にかけて書面審議による令和3年度定時評議員会が開催されました。本年度定時評議員会は昨年度と同様にコロナ禍における開催となりました。各評議員に対しては、資料送付による案内(296名)、メールによる案内(239名)で合計535名に開催案内を行いました。結果として、宛先不明で開催案内が戻ってきた評議員及び亡くなられた評議員合わせて10名の方を評議員数から減じ総数は525名となりました。期日までに返信のあった評議員は209名(議決権行使:133名、代理人に委任:15名、議長委任:61名)であり、いずみ会規約13条に基づく定足数175を満たしている事が確認さ

れました。書面審議で動議された評議員会議長に閑屋収評議員(20期)、議事録署名人に増子悦夫評議員(30期)、昇多加代評議員(32期)が承認されました。

第1号議案、令和2年度事業報告及び収支決算及び監査役からの監査報告を踏まえて書面により審議され、賛成多数で議決されました。

第2号議案、令和3年度事業計画案及び予算案について書面により審議され、賛成多数で議決されました。しかし、その後の感染症拡大傾向が収まらず、令和3年度事業計画については、ホームカミングデーの中止、各学校行事等の中止と議決された事業計画の見直しを余儀なくさ

れました。

第3号議案、いずみ会規約の改定については提示された改定案でいずみ会規約38条に基づき出席した評議員の3分の2以上の議決があり承認されました。あくまで評議員会は集会形式が基本であり、書面審議を常態化するものではないことを明確にし、この事を踏まえて改正内容の表現については誤解が生じないように適切な表現への検討を継続する事としました。

尚、審議事項ではありませんが総会後の懇親会は本年度も中止する事となり、懇親会幹事は引き続き「0の会」にお願いする事としました。

第一号議案 令和2年度 事業報告

「いずみ会」はいずみ会規約に沿って、令和2年度事業計画に従い次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和2年5月10日～31日に書面審議の形式で開催した。出席評議員は期日までに返信のあった253名(議決権行使:154名、代理人に委任:19名、議長委任:80名)となり、「いずみ会規約13条」に基づく定足数175を上回り評議員会は成立した。書面審議での開催動議及び議長・議事録署名人名2名の選出においては、賛成172名と議長委任80名で承認された。上程された令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画案は賛成多数で承認された。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和2年度は、理事会を7回(書面開催1回を含む)及び監査会を2回(書面開催1回を含む)開催した。本年度より密な情報交換を目的とした部長会を開催し、4回(内3回はZOOMによるウェブ会議形式)実施した。

第3. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第64号を令和2年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。
 - ・新役員及び退任役員の紹介
 - ・70期新成人の集い開催報告(令和2年1月13日開催)
 - ・令和2年度評議員会報告
 - ・令和元年度母校職業講話実施報告(令和2年2月26日実施)
 - ・各期同期会実施報告(8期、10期、14期、16期、20期、26期)
 - ・令和3年度から会報送付対象者変更のお知らせ
2. ホームページ(<http://www.izumikai.com/>)
 - ・新型コロナウイルスの影響でいずみ会活動が中止となる中、会員からの投稿、人材バンク部との連携等により、従来より充実した情報発信が行えた。
 - ・投稿記事:学生時代の回顧録、研究実績紹介、旧寮名寮への紀行、等連載コラムの開始(医療関係)
 - ・動画紹介:職業講話開催、母校の桜等季節情景、会員の活動、等

第4. 総会

新型コロナウイルスの影響で開催を中止した。

第5. いずみ会の活性化

本年度はコロナ禍の中で活性化につながる対面活動は全て実施できなかった。会報に同封の返信はがき(378通)やWeb投稿(93件)を通じて会員の方からの情報を収集した。

第6. 財政管理

1. 支出は予算に対し1,138千円の減額となり、前年度比90%となった。
2. 入会金は母校の協力を得られ193名の新会員が納入した。

3. 収入は予算に対し222千円の増額となり、前年度比で108%となった。
4. 収入面では会費納入者の増加や寄付金の増収による増加、支出面では多くの会合の中止・学校活動の自粛の影響による減少により、年度収支の赤字幅は縮小した。
5. 3年間に渡る「対象者を限定したコンビニ振り込みの試行」について、費用対効果が得られず打ち切りを決定した。

第7. 会員情報の整備

1. 本年3月に会員情報部会を開催し各期会員情報部幹事の確認、積極的な会員情報活動および「個人情報取扱規定」の徹底をお願いする予定であったが、コロナ禍のため中止となった。
2. 「高校73期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。

第8. 母校・PTA及び「同窓会の輪」との連携

1. 母校の発展に寄与するため、中学3年生対象の職業講話(講師2名)を本年2月に開催した。
2. 令和3年1月に「71期の新成人の集い」を企画、71期代表者との2回の打合せにより案内状を発送したが、緊急事態宣言下において中止を余儀なくされた。
3. 令和3年3月の「いずみ会入会式」はコロナ禍のため不参加となったが、10月28日に事前入会説明会を3年生全員を対象に開催した。
4. 卒業生全員に記念品を、皆勤賞受賞者19名に副賞を贈呈した。
5. PTAとの連携及び「同窓会の輪」はコロナ禍の中で活動は中止した。

第9. 人材バンク活動

1. 多彩な人材の発掘と人材バンク登録(本年度登録者数37名、うち23名が新規、中でも50期以降の若手が7名も登録)を行い、職業講話に活用した。
2. 会員相互の交流を促進するため、主に人材バンク登録者を対象にホームページや会報への寄稿をお願いした。

第10. 将来に向けての運営システムの改革

コロナ禍における理事会、監査会について、書類審議やZOOMを利用したウェブ会議形式での会合を導入することにより、必要な審議とともにタイムリーな情報交換を可能とした。

以上

評議員会議題の全文については、ホームページ「お知らせ・評議員会資料」をご参照ください。



第二号議案 令和3年度 事業計画(案)

事業計画立案に当たって

令和3年度からの会報送付基準の変更および評議員の評議員会における議決権行使の実態を踏まえるといずみ会運営に大きな転機を迎えていることは明らかである。

これまでは財政破綻の回避を優先することに主眼を置いてきたが、近年、中若年層のいずみ会運営に対する関心の薄さが改めて浮き彫りになってきており、将来に向けた組織活性化が急務な状況となっている。

現状をいずみ会組織運営の危機的局面と捉え、令和3年度では今後の運営の担い手となる中若年層の発掘を直近の課題として、将来に向けた運営システムの改善を、財政・組織活性化の両面で検討する。

第1. 定時評議員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年6月の定時評議員会を書面審議の形態で開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月の開催、監査会は年2回開催とする。
2. 評議員会出席に対する返信状況を把握し、返信のない評議員については見直しを検討する。
3. 評議員会開催案内をはがきからメールによる案内へ極力切り替える。
4. 定例の理事会、部長会をZOOMによるウェブ会議形式も併用して会議の効率化を図る。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 「横と縦の絆」を深めるための具体的方策を検討する。
2. 1項記載の検討を進めるために、全世代を対象とした検討チームを立ち上げる。
3. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
4. 初めての同期会開催およびその一環となる新成人の集い開催を支援する。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報65号を令和3年10月1日目標に発行する。
2. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、積極的収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 令和3年10月30日(土)に総会の開催を予定する。
2. 総会開催前にホームカミングデー開催を予定する。

第6. 財政管理

1. 会報送付費削減のため、会費納入実績に応じた限定送付を継続する。
2. 同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。
3. 会報未納入者に対する、会費納入協力の方策を検討する。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向けて、各期会員情報部幹事の活発な活動を促進する。
2. 高校74期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校PTAと協力して、幅広い母校支援を推進する。
2. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育支援・部活動を支援する。
3. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
2. 趣味となるサークル活動の立ち上げを促し、会員相互の交流を図る。

第10. 役員改選準備

令和4年度の改選に向けての準備を行う。

以上

◇ 高73期 評議員紹介 ◇

- 1組 梅田 絹子さん、田辺 凜さん
- 2組 本部 拓冬さん、高橋 佑奈さん
- 3組 竹原 紗妃さん、守谷 透さん
- 4組 中柴 柊馬さん、中野 真優さん
- 5組 駒崎 智紀さん、津野 愛奈さん

以上10名の方が新たに評議員になりました。

令和2年度 収支決算書

(自令和2年4月1日～至令和3年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和2年度実績
入会金	980,000
会費	1,683,000
寄付金	1,750,500
総会参加費	0
名簿関係収入	33,000
広告収入	153,600
雑収入	1,069
合 計	4,601,169

【支出の部】

科 目	令和2年度実績
総会関連費	30,512
役員・評議員会合費	98,222
広報費	2,968,155
会費関連費	725,500
会員情報関連費	24,954
母校連絡費	0
会員活性費	27,482
いずみ会室関連費	654,278
雑費	2,200
予備費	25,377
母校支援費	124,847
合 計	4,681,527

【収支の部】

項 目	令和2年度実績
当期収入	4,601,169
当期支出	4,681,527
当期収支残	-80,358
前期繰越金	13,361,155
次期繰越金	13,280,797

令和3年度 予算案

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

単位:円

【収入の部】

科 目	令和3年度予算
入会金	975,000
会費	1,590,000
寄付金	1,200,000
総会参加費	350,000
名簿関係収入	30,000
広告収入	160,000
雑収入	10,000
合 計	4,315,000

【支出の部】

科 目	令和3年度予算
総会関連費	400,000
役員・評議員会合費	260,000
広報費	2,110,000
会費関連費	420,000
会員情報関連費	45,000
母校連絡費	60,000
会員活性費	120,000
いずみ会室関連費	700,000
雑費	10,000
予備費	100,000
母校支援費	400,000
合 計	4,625,000

【収支の部】

項 目	令和3年度予算
当期収入	4,315,000
当期支出	4,625,000
当期収支残	-310,000
前期繰越金	13,280,797
次期繰越金	12,970,797

■コンビニからの振込みを中止しました

コンビニ振込みをこれまで3年間、対象の期を限定して実施してきましたが、利用される方が少なく費用対効果を考慮し、コンビニ振込みは中止とさせていただきます。従来通りゆうちょ振替、または銀行振込にてお願いいたします。

■会費納入の決まりは、

- ① いずみ会会員は、**年会費1,000円**を納入するものとします。ただし入会金納入者は、本会入会后7年目までの会費が免除されます。
- ② 会費免除の条件・・・年齢にかかわらず入会金を納入し、**累計45年分**の会費を納入した場合。ただし平成22年度分までは、全会員が会費を納入したものとみなされます。

また、令和元年度までに、満70歳に達した方、ならびに会費納入を完了された方を除きます。**(終身会費までの年数は、ゆうちょ銀行払込取扱票でご確認ください)**

なお、ゆうちょの振替手数料が大幅に値上がりしていますので、**複数年分の納入**をお願いします。

● 会費納入お忘れなく！ ご寄付もお待ちしています！

会報が届きましたら同封のゆうちょ銀行払込取扱票をご覧ください。それぞれの納入情報が記載されています。それに従って会費納入をお願いいたします。いずみ会運営の財源は皆様の会費、入会金、寄付金から成り立っています。よろしくお願いします。

母校の現況

校長 俵田 浩一



いずみ会の皆様方には日ごろより本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校の概況についてご報告いたします。今年度の東京都教育委員会からの指定は6つです。Society5.0に向けた学習方法研究事業に係る研究校、国際交流リーディング校、英語教育推進校、海外学校間交流推進校、文化部推進校(将棋部門)、オリンピック・パラリンピック教育文化プログラム学校連携事業実施校です。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学5名、一橋大学の1名、東京工業大学6名をはじめとして国公立大学に56名、早慶上理に128名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげることができました。

現在、新型コロナウイルスの影響により、教育活動に大きな影響がでています。6月20日(日)まで緊急事態宣言が発令されていました。その間、時差登校、分散登校を実施しました。自宅学習の学年には、Teamsによるオンラインライブ授業やYouTubeによる授業動画の配信による授業を実施しました。

7月12日(月)から4回目の緊急事態宣言が発令されましたが、時差登校、登校時の健康チェック、3密の回避、教室等の消毒など感染防止対策を徹底しながら全校生徒が登校して対面で授業を実施しました。

また、今年度の行事については、8月までの宿泊を伴う行事を中心に中止または延期となりました。

ICT機器関係では、今年度、中学生は、国のGIGAスクール構想、高校生は東京都のSociety5.0に向けた学習方法研究事業に係る研究校として、中学校・高等学校の全校生徒にタブレット端末が配備されました。

施設面では、7月にアリーナにエアコンが設置されました。

入学者選抜関係では、今年度から、高等学校段階の募集がなくなり、中学校段階の募集のみになります。完全中高一貫化が始まります。教科の学習内容の変更や教室配備等の準備を進めています。

最後に、来年令和4年度に創立80周年記念式典を行うための準備を進めています。いずみ会の皆様にも引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

主な学校行事

体育祭(5月、学年ごとに実施)、夏休み(7/21～8/31)、文化祭(9月)、修学旅行(10月、中Ⅲ・高2)、冬休み(12/26～1/7)、中3職業講話(1月いずみ会)卒業式(高校3/5・中学3/19)

激変してゆく教育現場

副校長 松田 晴美



今年度より都立大泉高等学校附属中学校の副校長として着任しました松田晴美です。本校の伝統を引き継ぎつつ、これからの時代を担える人材の育成を目指した中高一貫教育を行っていきたくと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

都立校ではコロナ感染対策を実施して1年以上が経過しました。分散登校が繰り返される中でも、本校は時間割の工夫やオンライン授業の配信により、生徒の学びのペースを維持することができています。今年度は生徒全員に個人用端末が行き渡りました。先日参観した中学Ⅱ年生の授業では、生徒がGIGA端末にて学校紹介パワーポイントをグループ作成していました。実際に学校説明会で使用される作品もあるとのことでした。生徒や先生方の新しい授業形態への適応力には驚くべきものがあります。授業だけでなくHR、探究活動、生徒総会、各種会議でもオンラインが併用されるようになりました。既にオンラインは、物事を為し遂げるための一つのサポート手段となっています。

また、今年は体育祭の代替行事をグラウンドで行うことができました。仮想空間から抜け出して、クラスが団結すること、競い合うこと、達成感を得ること等、生徒にとって学校行事や部活動は人間形成の上で重要な意味を持っています。私達は生徒主体の教育活動を模索することが仕事だと再認識して、変化の激しいこの数年を一丸となって乗り切りたいと思います。生徒が生き生きと活躍できるより良い学校にしていけるよう、皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

教職員異動(敬称略)

【転出】()内は転出先

中学・副校長	鈴木 祐至	(武蔵高附属中兼武蔵高)
中学・英語	上田 彩花	(園芸高校)
高校・国語	関 佳英	(武蔵高校)
高校・日本史	太田尾 智之	(国立高校)
高校・数学	西村 健太郎	(南多摩中等教育)
高校・数学	進藤 貴志	(両国高校)
高校・養護	菅原 千恵子	(大山高校)

【転入】()内は前任校

中学・副校長	松田 晴美	(調布北高校)
中学・数学	武田 脩平	(砂川高校)
中学・英語	亀田 利恵子	(鷺宮高校)
高校・国語	門間 絹介	(東村山高校)
高校・日本史	田中 亮太	(新規採用)
高校・数学	時松 秀行	(練馬区立田柄中)
高校・数学	浜田 正人	(東村山市立東村山第一中)
高校・養護	津島 恭子	(新規採用)

職業講話

いずみ会では、中学3年生を対象とした職業講話を今年も2月10日に講師お二人を招いて開催することができました。当日の会場の様子、掲載できなかった受講生の感想文はいずみ会ホームページをご参照ください。

遠藤 真司 (高26期)

「未来に向かって～自分の良さを見つめて～」



小学校長時代の教え子たちが中学生となり、よく相談を受けていた内容が「自分に自信がなく、友達がうらやましく見える」というものでした。多感な時期のこのような悩みは、大泉高校附属の中学生たちの中にもあるかも知れないという思いで話をしました。壇上から見る彼らは、大変熱心に私の話に耳を傾けてくれていました。私の示す資料をもとに、自分の好きなこと、得意なことを、真剣になって見つめ直していたように思います。ふり返ると、大泉高校に通っていた頃の私も、自分に自信が持てない時期がありました。勉強をする意味が見出せず、気力がわかなかったのです。ある時、このままではいけないと思い立ち、それから猛勉強を始め、大学に入ってから、今度は自分の目指す職業観が幾たびか変わり、思い悩む日々の連続でした。何度も挫折を味わいながら、そこを乗り越えてきて、自分なりに夢を追いつけてきたことが人生そのもののなのだと、今、しみじみ思います。

高校1年生の時に、英語の先生が「君たちは若くていいね。私もできたらまた高校生に戻ってやり直したいよ」こう話をされていたことを今でも覚えています。これから大泉高校の1年生となる彼らの笑顔を見て、若いエネルギーを感じ、私もまた、あの時の英語の先生と同じ気持ちになりました。

私の話がきっかけで将来への夢を描けることができたらしいです。「夢を見るから人生は輝く」・・・講演会で語ったモーツァルトのこの言葉を、私もまた噛みしめています。

(早稲田大学教職大学院 客員教授、開智国際教育学部 准教授、早稲田大学法学部卒業後、民間会社、都内小学校校長を経て現職)

学んだ事・感想 (抜粋)

★自分の良さをもっと自分自身が知るべきだと思った。人間は誰でも「8つの知能」を持っており、そこからやりたいことを見つけていく。「アレクサンダとぜんまいねずみ」のように他人を羨ましがらない。自分には自分の良さがある。自分で人生を輝かせられるかが重要という話から自分自身に少し自信のなかった私ですが自分の長所を見直したことで少し自信が持てました。夢を持って高校へ進みたい。★私はどれも人並みかそれ以上できる代わりに特に秀でたものもなく、良く言えば「オールマイティ」言い方を変えると「らしさがない」。でも今日のお話を聞いて周りの人を意識せず、どれか一つを伸ばしていきたいと思いました。★他人に対して羨むよりも自分の良さを探して伸ばしていきたい。夢を持ち、そこに向かって努力しようと思う。



小川 晶 (高44期)

「一生もの」保育の大切さ



高校生の頃の自分を振り返ると、選択肢がたくさんある高校生でした。

自分のなかの認識に苦しんだり、他者を羨んで真似てみたり、若さゆえの迷いや不安をしっかりと経験したと思います。人がどう行動選択するのかを知りたくなり、あかちゃんと家庭へ視点が向かいました。誰もが最初は0歳です。大人がどうかかわれば、その子は様々な危機にも立ち上がり、他者を思いやり、その人らしく幸せに豊かに安定して一生を終えられるのか。今回はその少しを中学生の皆さんにお話しする機会をいただきました。

「一生もの」は、見えないし、自覚もないし、点数化することもできません。しかし、その人の行動選択に方向付けをして顔を出します。自分を苦しめるような「一生もの」には少しの修正が、自分にチャンスを与えて下支えする「一生もの」には、感謝が必要です。それを獲得させてくれたのは、身近にいる大人です。「保育」は乳幼児の世話をしたり一緒に遊んだりする営みではなく、その子が

30歳になっても40歳になっても、健康で個性を生かした就労をして内なる自信家(自慢屋ではなく)であるために必要な「一生もの」を育てる営みです。興味のある方はぜひ学んでみてください。

(現 植草学園大学 発達教育学部 准教授)

学んだ事・感想 (抜粋)

★想像力の発達とそれを育成する教育、阻害する教育について深く考えることができました。今後の授業やこどもと接する機会に活かしていきたいと思う。★様々なことの価値観、考え方において、強要や決めつけをすることは、自分や人の将来や道が閉ざされてしまうこともあるだろう。いろいろな観点から物事を捉えることが大切だと思った。また、人から教わったことを鵜呑みにするのではなく、自分にとって何が必要か不要かを考え、実行するということこれから大事にしていこうと思った。★男女のこと、子どものこと、成長について、今まで想像していた以上に奥が深く、おんぶひもやハイハイの話など初めて聞いたことばかりでした。今思うとたくさん恵まれて過ごしてきたと思うので両親にしっかりお礼を言おうと思いました。

紙 上 講 話



池上 彰 (高21期)

「母校の教壇に立って」

我々が大泉高校には附属中学校が生まれ、中高一貫校になりました。かつての校舎とグラウンドの位置が入れ替わり、様相が激変しましたが、正門からの桜並木は面影を残しています。

新設された附属中学校で、このところ授業をすることが多くなりました。いずれも出版社の企画で、中学生向けに講義した内容を『池上彰の世界の見方』シリーズとしてまとめています(小学館)。

授業中、生徒諸君の質問の活発さといったら!次々手が挙がり、質問に全部答えていると、授業が先に進まないほどです。

私は現在9つの大学で教えていますが、中には授業中でも授業が終わっても、全く質問が出て来ないところもあります。それに比べると、我が後輩たちは見事なものです。

ここで思い出すのは、私の高校時代のこと。東京大学の中根千枝教授が来校され、たしか「タテ社会とヨコ社会」という演題の講演会があったことです。当時、中根教授は『タテ社会の人間関係：単一社会の理論』という書籍を出版されたばかり。この本の内容が講演のテーマでした。いまから思えば、こういう講演会が開催できるほど、わが校のレベルが高かったのか、当時の先生たちが、「せめてこれくらいは学んでほしい」と思ったからなのか不明ですが、体育館を埋めた我々は、熱心に聞いたものです。

講演会終了後、質問が次々に出てくること。意識が高かったなあと思うのですが、講演会終了後、「あんなバカな質問しやがって」と、質問した生徒への批判が聞かれたことも思い出します。こんな批判を恐れるから、最近の大学生は質問をしないのだと思ってしまいます。

何物にも恐れることなく、聞きたいことを質問する。それが、我が大泉の伝統であってほしいと思います。

(ジャーナリスト・東京工業大学特命教授)



宇山 秀明 (高20期)

「忘れられない敵将からのエール
「第二回日米大学野球の日本代表に選ばれて」

高校3年秋に頭部打撲・入院等もあり、2年間の浪人生活の後、慶應義塾大学に入学。体力的に無理と感ずるも早慶戦への夢を応援してくれた両親への感謝も含め、野球部へ入部しました。100m10秒台の復活へ努め、4年春に1番打者として打撃6位。早慶戦の翌日、第二

回日米大学野球(1973年)の一次決定4人のメンバーに選出されたと聞き、我が耳を疑いました。

当時はハワイで1週間時差を調整し、勇躍米国へ乗込んだドジャー球場での初戦及び第2戦、共に延長11回に逆転サヨナラ満塁本塁打とサヨナラヒットで敗戦。第3～5戦は米国の神宮球場にあたるネブラスカ州のローゼンブラッド球場に移すも敗え無く連敗。第5戦は勝利したものの、大谷選手の本拠地エンゼル球場で第6・7戦を行ない、2勝5敗の完敗でした。

日米のパワーの違いと延長戦での連敗が日本代表の敗因の第一であったと思いますが、1番藤波(中大→中日)(打率0.200)、2番宇山(打率0.182、3盗塁)の打撃不振も大きな要因でした。プロ野球で活躍した山下(大洋)山本功(巨人)楠城(西武)中畑(巨人)田尾(中日)等がいたのに残念な結果でした。

米国で初開催(第一回は前年に日本開催、皇太子殿下が始球式)でしたので、準備に奔走戴きユニフォームの「日の丸」に涙された日系二世の方々の熱い思いもあり、各地での歓迎会、MLBとの変則ダブル等特別な扱いでした。球場の素晴らしさ、ライトから1塁へ全力疾走したカバリングへの称賛、米国デドー監督から「印象に残ったのは宇山の足と山下の守備」と評価された事は、その後の野球生活の糧となりました。

野球を通じて学んだことは多いですが、〈チームワークとは仲の良さではなく、目標に向かって各自が役割を果たす為の努力〉〈弱者が強者に伍するには、己を知り相手も知って常に創意工夫〉〈考える野球とは考えながらプレーすることではなく、事前に考え実践・反省・改正のPDCAを廻す事〉等、これまでの人生にもっと活かせば良かったと今頃反省しています。

今年の高校野球夏季大会、母校は中高一貫校で厳しい環境の中、3校(大泉高校・井草高校・田柄高校)合同での参加ですが日頃の成果を発揮して下さい。昔の仲間たちも文武両道に励みましたが、後輩諸君も精一杯青春を謳歌して下さい。



▲1973年ドジャー・スタジアムにて撮影



橋谷 晃 (高28期)

「山と自然のプロガイド」

私は山と自然のプロガイドという、ちょっと変わった仕事をしております。皆さまを自然の中にお連れしたり、またテレビや雑誌などを通して、自然の魅力やしぐみなどを紹介する、という仕事です。TV番組でご覧いただいている方も、もしかしたらいらっしゃるかもしれません。私がこの仕事をするようになったいきさつをお話することが、これから人生を選択してゆく世代の方の、何かの参考になりましたら幸いです。山が好きになったきっかけはいろいろあるのですが、それはさておき、高校生の頃、山が人生の中で大きな位置を占めるようになった出来事を一つ、お話ししましょう。

高1の夏、私は初めてテントを担いで山に行きました。山に泊まると、山の上から夕陽が見られます。北八ヶ岳という山の上から、目の前に広がる諏訪の盆地。その向こうに、遠く北アルプス、中央アルプス、南アルプスの山々。それらすべてをオレンジ色に染めて、夕陽は沈んでゆきます。15歳の私はふと、あることに気づきました。地図と、目の前の風景が、決定的に違うのです。目の前の風景には、人間が引いた境界線なんて、どこにもありませんでした。ただどこまでも続く大地が、一つの夕陽に照らされていました。「これが自然なんだ！」ただ当たり前のことなんですけど、体の中を電流が走ったかのような衝撃を、今でもはっきりと覚えています。見渡す限りの街も、山も、川も、すべて分け隔てなく、一つの夕陽に照らされ、そしてふと見ると、それを眺める私も、オレンジ色に染まっていた。人の世の争いも、境遇も、悩みも関係なく、ただそこにあるだけ。「これが、自然なんだ…」私の目から、なぜか涙があふれて、止まりませんでした。

以来、山に行くことは、人生の中で大きなウェイトを占めるようになりました。やがて大学を卒業して仕事を考えるにあたって、私は思いました。起きている時間のうち、仕事をしている時間は大部分を占める。その時間を「生きている！」と感じられるのか、仮の姿とを感じるのか、その違いは大きいだろう。それなら、好きなことを仕事にしてみよう。山や自然の魅力を、人に伝える仕事をしてみよう。これなら、大切なことをたくさん教えてくれた山々に、ちょっぴり恩返しができるかも。しかし周囲からは、猛反対をいた

きました。当時はそんな仕事の概念すらなく、「そんな仕事、聞いたことがない」「絶対に食べていけない」という声がほとんど。食べていけないと言われたら、「じゃあ食ってやろうじゃないか」と半ば意地になって、今日に至ったような気がします(笑)(あ、でも今にして思えば、反対のアドバイスも、聞いておいて損はないと思いますよ^^どんな意見も、そこにはおそらく、100%の真実も、100%の間違いもなく、何%かの真実が必ずあり、それは往々にして自分には欠けているものだったりしますから)それから約40年、好きなことを仕事にして、やっぱりよかったなと、しみじみ思います。人間、おそらく好きなことで、自分の能力が最大限に発揮されると思います。逆に好きでもないことで自分が評価されたとしたら、やっぱりちょっとつらいですよね。だから、好きなことに思い切りチャレンジした方が、いいと思います。

これから進む道を考えてらっしゃる方に、ちょっとだけアドバイスできることがあるとすれば、

- ・好きなことで
- ・人が喜んでくれることを
- ・一生懸命やれば

必ず仕事として成り立つんじゃないかな、ということです。人が喜んでくれるということは、ニーズがあるということで、それは職業として成り立つ要素があるということだと思います。一生懸命さも確かに大事で、ただそれは、好きなことならストレスなく一生懸命になれると思うんです。なんだか、ちょっと先輩づらしたことを書いてしまいました^^;でも何かで迷ったときに、「そういえば、こんなこと言ってたやつがいたなあ」と、ふと思い出してくださったら、幸いです。

人生は、ハードな楽しさも含めて、楽しいです！



【橋谷晃プロフィール】山と自然のプロガイド。1982年にネイチュアリング・スクール「木風舎」を創立、以来その代表。TV番組や、講演・イベントなどを通して、山の楽しさを伝えている。

NHK「にっぽん百名山」シリーズや、テレビ東京「なないろ日和!」など、各種TV番組に出演中。著書に『トレッキングのABC』『失敗しない山道具選び』(山と溪谷社)、『ネイチャースキーに行こう』(スキージャーナル)など、多数。

進路状況

2021年度 都立大泉高等学校 主な大学への合格者数 ()内は現役

【国立大学】54(48)

東京 6(5)、東京工業 6(6)、一橋 1(1)、筑波 1(0)、お茶の水 1(1)、東京外語 3(3)、北海道 2(2)、名古屋 1(1)、大阪 2(2)、千葉 1(1)、電気通信 2(1)、東京農工 4(2)、横浜国立 9(9)、東京学芸 3(3)、埼玉 5(4)、茨城 1(1)、三重 1(1)、広島 1(1)、徳島 1(1)、防衛医科 1(1)、国立看護 2(2)

【公立大学】14(13)

東京都立 10(9)、埼玉県立 1(1)、静岡県立 1(1)

【私立大学】793(745)

早稲田 48(47)、慶應義塾 16(14)、上智 20(19)、東京理科 (48)、青山学院(28)、学習院 (14)、法政 43(41)、中央 40(38)、明治 64(62)、立教 51(51)、成蹊 21(19)、成城 6(6)、武蔵 12(12)、日本 40(37)、東洋 48(44)、駒沢13(13)、専修 6(5)、北里 2(2)、工学院 5(4)、国学院 6(5)、芝浦工業 17(15)、順天堂 3(2)、津田塾 5(5)、東京女子 22(22)、東京電機 9(7)、東京農業 12(10)、東京都市 5(3)、日本女子 10(9)、明治学院 9(7)、桜美林 2(2)、帝京 8(8)、東海 8(8)、関西 3(3)、立命館 8(7)

こんな一年でした

新型コロナ感染拡大に振り回されたこの特異な一年の経験を、国内外の会員、在校生からお寄せいただきました。

高
20
期

「黒(白)ひげドクターの奮闘記」 福原 正和



コロナの状況は7月現在でも終わりが見えませんが、皆さん元気でお過ごしでしょうか。編集部から「黒ひげドクター・・・」との依頼を受けましたが、高校時代の青から黒の時代を過ぎて現在「白ひげ」となっている福原からの「医療逼迫」現場報告です。

私は現在札幌市医師会夜間急病センター(私が最も高齢)を中心に請われるままに6カ所(宮城石巻も)臨床現場で働いています、元は小児科医ですが全科(内科系)を診ています。

コロナ禍と言っても全ての医療従事者が忙しく働いているわけではなく、開業の小児科や耳鼻科等は患者減少で経営が問題になる程です。私の働く急病センターでもインフルや感染症の方は少なく、更に「コロナ感染」を心配して患者数は例年の半分程度です。

ただ手術や入院の必要な重症患者さんが来院した場合195万都市札幌でも移送先に難渋します。先日などセンター内で心臓が止まり(心室細動:電気刺激で回復)心筋梗塞疑いで入院先を必死で探しましたが「コロナ患者対応で忙しく無理」と6カ所から断られ、他の患者さんを待たせた中で病院探しに時間を取られ以前に比べ時間と手間が数倍かかりました。

また熱と咳がありコロナ疑いの認知症高齢者の場合、受けてくれる病院がぐっと少なくなります。

指示が理解できず、酸素や点滴を外して動き回る患者さんへの対応は普通の患者さんの何倍も人手がかかります。点滴を外されれば出血し、勝手に歩いて転んで骨折等したら「病院の管理責任」として家族から訴えられます。

感染予防のN95マスクをしていると患者さんの食事や排泄介助等の仕事ではほんの10分ほどでも苦しくなります。また感染予防の完全防護具をきちっと装着するには一人では着られません、その為トイレに行くのも制限されます。看護師の中には(自分の)オムツをしながら働いている人もいと聞きます。(前立腺不調の私などトイレに行けないと辛いです。)

このような病院の事情も分かるので「申し訳ない」と思いながらも患者さん受け入れ病院を探す毎日です。更に同じ事情で病院が見つからず救急車内で数時間も待つ患者さんも発生したりします。

私自身高齢者ではありますが、このように現場で忙しく働きつつ孫7人と「孫は来てよし帰ってよし」の楽しい時間も過ごしています。(私自身の子どもたちの子育てにはほとんど関われませんでした)元気なつもりで

したが、腰痛(ヘルニア?)でほぼ寝たきりでここ数日を過ごし原稿が遅れてしまいました。コロナで亡くなった志村けんを超えて高齢者となっている方も多いと思いますが皆さんのご無事を心より祈っています。

在
校
生

「コロナで気づいた大切なもの」 須田 友雅(大泉高校生徒会長)

現高校生徒会会長2年の須田友雅です。今回は私が体験した新型コロナウイルスの影響についてお伝えします。

高校受験に成功し、これからという時に突如出た緊急事態宣言による休校。私たちの新生活へのスタートは遅れてしまいました。休校期間中に下がっていくモチベーション、勉強意欲、乱れる生活、勉強習慣。他にも多くの不安と不満が募りました。

私たちの学校生活はマスクをつけ、みんなの表情がわからないまま、分散登校という形で始まりました。段々と学校が元に戻っていく中、高校生活を目一杯楽しんでやろうと思い、何事も積極的に取り組みました。その結果ボランティア団体での活動や生徒会活動などの貴重な経験が出来ました。その中でも特に印象に残っていることは行事がなくなったショックから友達と一緒に学年内交流会を企画し、成功させたことです。

私はコロナウイルスという思わぬ災難によって友達がいるということや先生に直接教えて貰える安心感、学校という恵まれた環境にいるのだということに改めて気がつきました。また、何事も自分から動くことが大切な事だと私は思います。

高
71
期

見慣れてしまった“緊急事態宣言” 川名 絵梨香

見慣れてしまった“緊急事態宣言”の6文字には、もう大きな意味は感じない。「20歳の皆に会いたくて、結構頑張って準備したんだけどな」って思いながら、また予定を1つ取り消す。去年は結局、1度も大学に行かなかった。バイトも全然しなかった。予定していた旅行もキャンセルした。サークルの後輩には、片手で数えるくらいしか会えなかった。

夢見ていた大学2年生がそうやって終わって、色々なものを犠牲にして、それでもまだ状況は変わらない。「コロナだからしょうがない」ってこの1年間で私たち、何回言った?とは言え、拗ねていても仕方がないから空いた時間で車の免許を取った。カラオケの代わりに家で歌った。友達とビデオ通話をした。いつかの旅行の為に貯金を始めた。半ば無理やりでも、前を向いて笑顔でいる方が楽しいらしい。

“withコロナ”の生活に蒸し焼きにされる夏がまた来る。

この制約の重なる生活がいつまで続くか誰にも分からないけれど、どうか少しでも早く、同期の皆に会えるように願っています。

高
71
期

中止になった成人式

飯田(宮崎) 幸葉

例年では、晴れ姿で集まった同期たちとの写真が掲載されている会報ですが、今年1月11日に予定されていた新成人の集いは緊急事態宣言により、中止となりました。開催の数日前まで実施出来ると信じ、準備を重ねていました。多くの人が楽しみにしていた会がなくなってしまった事への悲しく寂しい思いとこの情勢では仕方ないという思いから、複雑な気持ちになったことを覚えています。今回の会は中止となってしまいましたが、開催を前向きに検討し、尽力してくださったいずみ会の役員の方々、多くの先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍で中止となったことは他にも多くありました。私は学祭実行委員会に所属し、体育祭、学祭の企画運営を行っています。何十時間と準備を重ねた体育祭、学祭が相次いで中止となり、悔しい思いをしました。

このような経験をしている人は多くいると思います。普通の暮らしができないことの辛さを感じた1年数ヶ月だったと思います。私がこの文章を書いているのは6月中旬、この文章が会報に掲載され、皆さんの手元に届くのは10月とお聞きしています。普通の暮らしが可能となっている未来を願い、また、皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

高
30
期

コロナ禍でのロンドン生活

玖保 キリコ



英国がロックダウンしたのは昨年の4月のことでした。

一瞬、スーパーの棚から小麦粉、缶詰、乾物などの長期保存が効くもの、そしてトイレトペーパーがごっそりなくなり、「70年代のオイルショックみたい」と思いました。

ですが、すぐ正常に。人混みを避けたかったので、スーパーのオンラインショップを検討しましたが皆同じことを考えたらしく、どこもいっぱい新規の枠に申し込むことができませんでした。しかし、たちまちニョキニョキと新しいオンラインショップが出てきて、ことなきを得ました。オンラインショップで買い損なった物のみ、近所のお店で買っています。

私の仕事はもとよりリモートなのでパンデミックの前も後も変わらないのですが、息抜きのカフェ探訪がロックダウン中にできなくなり、実際の不自由さよりは精神的な息苦しさのほうが大きかったと思います。とはいえ、たまたま2年前に家の改築を済ませ、私も夫も自分の仕事部屋を持つことができていたので、本当に幸運だったと思います。カフェや自宅の外のコワーキングスペースで仕事を

していた人たちは大変だったはず。

私も私の周りも2回目のワクチン接種を無事に終えました。英国の住人は大抵GPという診療所に登録していて、まずGPで診療してもらい、専門医が必要な人はそこから病院に回してもらうというシステムで、ワクチン接種のお知らせもNHS(国民保健サービス)からGPを通して来ました。ワクチン接種に関しては「英国なのになんかいい！」と思った以上にスムーズでした。

英国では7月19日にはロックダウンを全面解除になります。まだまだ感染者数も上がっているのに大丈夫か?と心配する人も多かったのですが、ロンドン市長のサディック・カーンが解除の後にも公共交通機関などではマスク必須と発表してくれたので、胸をなで下ろしています。ロンドン市長、偉い!

日本の皆様も引き続きくれぐれもお気をつけてください。

(英国ロンドン在住 漫画作家 7月15日寄稿)

高
18
期

ロックダウン下のマレーシア

小林 謙介

皆様、ご無沙汰致しております。マレーシアはコロナ感染が急激に増大し、6月1日より2週間のロックダウンとなりました。

私達夫婦は一週間程度の日常品や食料品の購入に配車サービスを利用しているのですが、搭乗者が一人に限定されてしまい、少々不便を感じています。また在宅が基本ですので、コンド内のプールやスパ、ジムといったファシリティが閉鎖となり、運動不足解消の為に室内を5千歩程歩くのが日課となりました。

マレーシアの人口は約32百万人で日本の四分の一です。日々のコロナ感染者数はMCO(Movement Control Order)と呼ぶ4段階の緩い規制下で3月末まで人口当たり日本と同じ程度(1.3千人)で済んでいたのですが、4月から急激に増加を始め、5月末には7千人に達したことから今回のロックダウンとなりました。3月初のインド、3月末のネパール、4月初のタイも同様な感染爆発が起こっており、所謂インド株の影響と想定しています。

マレーシアではMy Sejahteraというスマホアプリでコロナ関連が一元管理されています。政府関連の文書やWEBサイトはマレー語のみの表記で難儀するのですが、このアプリは英語が併記され助かっています。その一端をご紹介しますと、まず、あらゆる建物や交通機関(お店やタクシー、自身のコンドも含む)に入る時はこのアプリでQRコードを読み取らないと利用できません。またコロナに関する種々の情報はメニューから選べ、例えばワクチン接種の予約や近辺の感染状況の把握が可能です。入店は、その日の体調がアプリ内でアップデートされていることをまず入口で係員が確認し、次に体温計測と店のQRコードをアプリに読み込んで初めて可能となり、結構良くできたアプリと、感心しています。

*注記 本コラムは、いずみ会ホームページに写真付きで掲載されています。是非ご覧ください。

(マレーシア・ペナン市在住 6月14日寄稿)

高
19
期

コロナ禍の一年(ドイツから)

中山 公子

日本よりやや遅れてこちらに上陸したコロナ、日常生活に身体接触が多いせいか(握手、ハグ)あるいはマスク着用への抵抗が強かったせいか、あっという間にアジア諸国を追い抜き、ロックダウンとなってしまいました。(始めはスーパーからトイレットペーパーが消え、1970年のオイルショックの頃を思い出しました。)その頃、頭のいいケーキ屋さんがトイレットペーパーの形のケーキを売り出しヒットしました。第1波は何とか乗り切ったものの、冬に向かって第2、第3波にみまわれ、10月に世界最大のビール祭りといわれるミュンヘンのオクトーバーフェスト、12月には伝統のクリスマスマーケットも中止となり暗い冬となりました。クリスマスごろ待望のワクチン完成の報があり、皆喜ぶかと思いきや、接種反対の人が結構おり、初めの頃のアンケートでは回答者の30パーセントぐらいが接種に懐疑的と答えているのには驚きました。また一時それを反政府運動に利用しようとする人達も現われ、各地でマスク無しの大きなデモがあったりしてこれにもビックリ。最近接種の効果が現われ、感染率も明らかに下がってきているのでその辺の動きも落ち着いてきました。それにともなって6月に入ると各地で規制緩和が進み、各種イベントなども開催されるようになり、夏に向かって人々の気持ちも少し明るくなってくるようです。(私事ながら私も先般ライブチッヒのバッハ音楽祭をのぞいて来ましたが、規模は普段の半分ぐらい、聴衆は十分の一ぐらいでしたがとにかく開催されたということは嬉しいことでした——但し接種を2度受けていない人には毎日コロナテスト義務はあったのですが。)

世界各地で次々に現われる変異ウィルスが予断を許さない状況ですが、できるだけ早いコロナの終息を願いつつ。

(ドイツ・ウィーズバーデン市在住 6月21日寄稿)

高
50
期

技術士になり1年

植村 直人

私は令和2年3月に技術士試験に合格しました。「技術士」は、技術者にとって最高峰の資格と言われており、21部門の分野で国が「Professional Engineer」として認める資格です。しかし、医師や弁護士、税理士などと違い「その資格がないと活動できない」という資格ではないので、あまり皆様がご存じないかもしれません。

私は鉄道信号メーカで「踏切しゃ断機」の設計に携わっています。一步間違えれば通行者の命を殺める危険な装置です。これまでは、「積み重ねた経験」と「熟練の勘」が重視される世界であり、若手技術者がチャレンジするには厳しい世界でした。しかし、確実な手順を踏みながら設計することで、致命的な設計ミスを防止でき、踏切通行者の安全、鉄道の安定輸送の確保、なによりも若手技術者がチャレンジできる機会が増えると考え、そのような環境を作るために技術士を目指しました。

昨年コロナ禍が続いており、私の業務もテレワークに完全移行しました。はじめは若手技術者への指導や業務管理など、ウェブ会議では満足できない状況が続きました。そんな中、「課題」と「ルール」などの「確実な手順」を明確にすることで若手技術者は自分たちで考え、「成果」をあげることができるようになってきました。このような時代になり急な変化に戸惑っている状況ですが、私は新たな働き方を見つけることができております。事態は深刻ではありますが、違う角度から見ると明るい未来への序奏なのだと日々感じています。

いずみ会報・いずみ会ホームページでは、
皆様からのご投稿をお待ちしています。

令和2年度 いずみ会ホームページ投稿記事紹介

昨年度いずみ会ホームページにご投稿いただいた記事を紹介しますので、是非、ホームページを開いてお読みください。

★大先輩からの投稿「小児の頭 発育」

高2期 甘利 英一さん

90歳目前の岩手歯科大学名誉教授の甘利さん、日本の小児歯科医療の草分け時代から多くの歯科医師を育ててこられました。今回は小児の頭の発育、また、コロナ感染についても解説をいただきました。

★マラソン先生のお話し「医療・健康に関するエッセイ」

高32期 棟方 隆一さん

医療・健康に関するエッセイを担当していただく歯科医の棟方さん、今回は高校時代の奔放な生活、小学校PTA会長時代のご苦勞な経験を綴っていただきました。

★ポケモンドクター「食べる」を再考する

高22期 田中 英一さん

小児歯科医の田中さん、YouTube番組「ポケモンKidsTV」にも出演！人生百年時代を迎え、健康に過ごすための「歯の健康」を解説していただきました。

“思い出の”まんぽ会”

コロナ禍で外出もままならぬ日々が続いていますが、サークル活動の一つ「まんぽ会」で歩いた所をせめて思い出して、またこのような活動がためらいなく復活できるように願いを込めて。なお、まんぽ会の足跡はいずみ会ホームページに掲載いたします。



★まんぽ会は2007年11月練馬広徳寺から2019年4月の入間～稲荷山公園の桜(里山クラブと合同)まで毎回思い出がありますが特に印象的な3件をご紹介します。一番は「美ヶ原～岳の湯・雲渓荘1泊」真夏の快晴の中、見晴らし台からの360度の山の絶景は最高でした。昼のお弁当を炎天下、まさかの道端の草むらでいただいたのも忘れられません。二番は「津南豪雪を楽しむ」3メートルの豪雪の中、スノーシューでの雪中行軍は、雪の中を歩くのがいかに大変か！楽しいか！忘れられない楽しい思い出です。三番は「護衛艦やまゆき体験航海」護衛艦に乗れるなんてまさかの体験。貴重な思い出です。このほかにもたくさんたくさん思い出します。皆で楽しめたことに感謝！

(高10期 野口 悦子)

★みっふい～の里山歩きベスト3…皆勤賞ではないが、精勤賞くらいにはなるかな？里山歩きとまんぽ会体験から私のベスト3を。

第3位：伊豆大島三原山：三原山山頂お鉢回りでナンバンギセルと初対面。

第2位：第3回秩父札所回り(里山クラブ)：札所11番常楽寺～17番定林寺。

第1位：第6回秩父札所回り：26番萬松山円融寺から29番笹戸山長泉寺、枝垂れ桜で有名な清雲時まで。円融寺ではピンクの花カクトラノオに出会う。琴平神社・岩の山道登り(1人を上から二人で引っ張り上げ、下からも二人で押し上げたり)は大変だったけれど、岩井堂を経て琴平丘陵ハイキングコースへ通じる楽しいコース。もちろん途中、持参のお弁当や、甚太郎蕎麦・牧場のソフトクリームもたっぷり堪能！した。

(匿名希望)

★第8回洗足池～本門寺(日蓮上人の足跡)

「どこか計画して」と依頼があり、桜の名所として知られる“洗足池から本門寺”を提案した。普段は気軽に歩いて

いる道ではあるが、道案内となると少々緊張する。まずは一人で、本番2週間前にはリーダー他3名と改めて下見をして準備万端。本番は2008年3月31日、快晴！洗足駅に集合して目の前の洗足池を一回り。日蓮上人が足を洗ったときに衣をかけたといわれる“袈裟かけの松”などを経て、池上線が頭上スレスレを走る狭いトンネルを潜り抜けて40分。江戸城無血開城を相談したといわれる松濤園のお茶室・小堀遠州の素晴らしい庭園を見学後本門寺へ。力道山はじめ著名人の墓所が多くあるが、散策の間、近隣のおじさんがいろいろ説明してくれて結構面白かった。最後は仁王門の96段の石段を下りて本阿弥光悦書といわれる総門の額の下をくぐり、ごまイワシ・おはぎのお土産も調達して池上駅で解散。久しぶりに若かりし頃の写真を眺めて思い出しても、よく歩いたものと感心。楽しい一日であった。

(高8期 二宮 靖子)



★私が初めてまんぽ会に参加させていただいたのは、2008年(平成20年)、台風の余波が残る中の高尾山登山でした。年齢は違っていても「青春時代を大泉で過ごした」通じあうものがあって居心地の良い雰囲気魅了されました。以降、いろいろなところへ連れて行っていただきました。泊りがけの旅の時は修学旅行の再現みたいで年甲斐もなくワクワクしました。特に心に残るのは2009年1月の湯西川温泉。夕方、かまくら灯籠に明かりがともり幻想的でした。何度も行った津南への旅では2012年2月豪雪の中でのスノーシュートレッキング。山のてっぺんまでリフトでのぼり、360度の展望を楽しみ、腰のあたりまで届くような深い新雪を踏みしめながら山を下ったこと。人生最初の雪中歩行でした。そのほかにもまだまだたくさん、どれか一つを選べないくらい楽しかった。大泉高校の卒業生でよかった！と思ひながら参加させていただきました。皆さんに感謝です。

(高8期 宇田川 公子)

築根クリニック

東京都練馬区関町東1-22-11

TEL 03-3928-7868

<http://www.tsukune-clinic.com>

内科・放射線科
院長 築根 吉彦

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～12:30	○	○	/	○	○	○	/
PM 3:30～ 6:30	○	○	/	○	○	/	/

会計部より・寄付・広告提供者一覧

昨年度も多くの皆様に同窓会費・寄付及び広告をご提供いただき、まことにありがとうございます。今回お名前を掲載しましたのは、次の方です

① 寄 付 者：

令和2年4月1日から令和3年3月31日の期間に寄付を頂いた方（終身会費を超えて振り込まれた場合は寄付として扱わせていただきました）。

② 広告提供者：

会報いずみ65号に広告を提供していただいた方。

寄付者一覧（敬称略）

【中01】春日孟、樋田並照、浜中辰夫、【高02】塩塚満、佐藤寛、【高03】戸栗愛、今村忠雄、小川陽弘、相原勝義、中西和夫、【高04】高野勇、諸井勲治、仁科和雄、中山まさ子、比嘉高、風岡眞次、【高05】松岡五郎、西野まつ子、斉藤毅、川津邦雄、大橋陽子、大竹知恵、大澤登、竹沢幹夫、田中房代、藤原良弘、萩原義明、粕谷茂雄、武内延浩、【高06】永井満、金子与一郎、原田清、高松範、佐野弘太郎、篠田敦子、小林美智代、松村幸子、森幹雄、神田計子、村井淳一、大沢輝夫、土屋雅春、島村一彦、飯塚晃、浜野章保、平野和夫、北野早苗、柚原修、【高07】永池和子、岩隈勉、三平千代子、新谷直道、【高08】加瀬照代、宮崎信吾、杉浦五十鈴、浅野稠子、島田恵造、島崎晃、武山誠子、堀光成、野口純正、【高09】稲葉八州雄、奥住訓子、鎌倉悦子、山下泰子、穴戸俊雅、畝村治男、石村進、石塚安太郎、柚原美智子、【高10】安藤肇、金沢健蔵、権田信之、坂木庸晃、織田和子、太田路子、大谷義彦、田所満一、本橋達朗、藍原寧、鈴木京子、【高11】関根由喜江、細井千津子、大久保匡、並木正彦、續肇彦、【高12】塩田順康、海野徹也、関根宥子、小野田敦子、川原範雄、中沢勲、飯沼光子、【高13】安達宏鎮、関直樹、丸山素子、戸田一誠、高津幸一、高田勲、小松富貴子、杉浦和子、青木泰男、中本攻、田中昇次、風祭一枝、福田赳夫、福島正子、櫻井正昭、【高14】一ノ瀬通夫、吉田恒彦、高木登茂子、紙谷和子、舟木宣光、清田健司、早川希尹子、大串康夫、添田禮子、布施百合子、服部融憲、國谷俊之、【高15】岡本正典、関口和雄、久保田繁、佐藤徹太郎、坂本成、小林将夫、仁藤澄子、水島磐男、浅村洋子、前久保博士、速水洋志、天竺智雄、渡辺浩通、【高16】橋元宏、小泉三枝、小池宣己、飯島信枝、柳瀬正敏、【高17】杉本裕子、石原昭男、淡野保昌、長谷川隆太、能美卓爾、豊島公治、堀江悠子、【高18】伊藤圭子、宮田健治、寺島孝、酒井陽三、森岡謙三、多屋哲子、島崎徹、比留間弘子、富井利尚、野辺裕治、【高19】永田享治、出川洋、小山雅文、水

野国雄、杉田時男、匿名希望、増田孝次、田村明子、濱田國夫、【高20】遠藤隆久、玉置敏夫、桑名みちる、溝口俊一、甲元真人、行本修、高橋初、三上恵只、山口達夫、山川長生、中川恵、田中憲太郎、登坂薫、内堀真史、入田哲郎、乃美和夫、尾崎彰夫、福原正和、鯉江広利、【高21】上田豊、西村宏模、長富育子、田邊夏樹、土田豊、林賢二、鈴木治子、安岡章雅、【高22】岡安則、花澤亮司、駒田進、原隆弘、山之内裕、陣内将司、水谷三枝子、石田正一、中村直登、伴辰也、飯野財、【高23】岡田充弘、後藤洋子、上川路正信、清水達朗、渡辺信夫、萩原正俊、福原由雄、木下直美、【高24】原田公彦、秀島光子、中岡佳良子、武藤由利子、【高25】永井宏、功刀純子、高橋徹、根本靖彦、中村武夫、堤愛子、内村伸子、内村賢一郎、【高26】加藤尚子、山本勉、山本晃、酒井泰男、平野弘道、【高27】下田育代、牛山裕光、早川由美子、大久保高秀、野瀬松男、【高28】山口恭正、山田嘉彰、清水義裕、波多野由里、中野栄一、内島寛之、【高29】笠浩一郎、古井戸宏、山口美季、【高30】鎌田智彦、大坪由佳、大島寛治、【高31】越原由香、関島勝巳、高瀬浩和、大山洋、谷口真弓、竹中文子、矢崎千枝、【高33】森谷誠、【高34】平田英一郎、【高35】匿名希望、沼田洋一、石川秀樹、湯浅幸子、福井幸子、鈴木啓順、【高36】伊与部智子、青木京子、平田勝裕、【高38】小方正一、【高39】宮下真紀子、長谷川あずさ、【高40】伊藤勲、嗣永典子、【高41】柴岡義則、辰巳典子、八谷道明、【高45】渋井豊一、【高47】吉越一磨、新垣美保、辻川浩史、渡辺弘毅

広告に御協力いただいた方（敬称略）

高14期 神崎 隆洋 （カンザキ建設）
高18期 築根 吉彦 （築根クリニック）

■いずみ会を維持・発展させるために、今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

副会長・会計部長 山口 達夫（高20期）
e-mail : izumikai@v7.com

■いずみ会年会費の銀行振込による納金も可能です。

- 振込先
三井住友銀行 武蔵関（ムサシセキ）支店 普通口座
口座番号 No.6864113「いずみ会会計部長山口達夫」
- 振込者名
（例）K200649 オオイズミ タロウ
必ずお名前の前にIDをつけてください。
（会員IDはゆうちょ払込票で確認できます。）
- 振込手数料はご負担願います。

令和2年度 いずみ会ホームページ投稿記事紹介2

★保育中のお母さんに! 「食べる」と「おいしさ」のヒミツ

高44期 小川 晶さん

職業講話で講演いただいた小川さん、乳幼児期の「食育」が大人になってから感じる「おいしさ」に大きく影響していることを解説していただきました。

★最新のSNS情報「小学生のプログラミング教育を考える」

高45期 中邨 良樹さん

青山学院大学で経営情報学を研究をされている中邨さん、最新のSNS情報、学生の就職志向と共に小学生のプログラミング教育について解説していただきました。

★英国紀行「マグナカルタごらんになりませんか」

高20期 小林 憲一さん

ご夫妻で訪れた英国・ソールズベリー大聖堂、妙齢の女性から「マグナカルタご覧になりませんか」と声を掛けられました。「マグナカルタ」とは? 高校時代の歴史授業を思い出しては如何?

★青春紀行「榛名に思いを馳せて」

高26期 谷口 光良さん

同級生3人、高2夏の思い出を求めて「榛名寮」跡地へ。国会図書館まで足を運んで調べた昔の住所、残念ながら何の痕跡も残っていなかったが…!

「本物のヒノキと漆喰壁の凜とした佇まい」



本社モデルハウス



カンザキ建設

木造 鉄骨 鉄筋コンクリート

東京都杉並区今川3-20-5

TEL: 03-3397-1150

FAX: 03-3397-1170

営業時間: 9時~18時

(年中無休: お盆・年末年始除く)

「建築中現場・見学会」

随時開催中

資料をご請求ください

mail: kanzaki-hinoki@hinox.net

https://www.kanzaki-architects.com/



声

★還暦同期会で偶々出会った仲間10人の喜寿、傘寿を無事通過、楽しい交流はまだまだ続く。(合唱、里山旅行)有難う大泉! 9期 ★私の同窓会報は「いずみ」だけです。毎年の発行よろしく願いいたします・15期 ★同期の連中に会いたいです。私はソフトテニス部(当時軟庭部)でした、同部の活躍は気になります・4期 ★WEBで代用の流れですが、会報ならではの良さがあるのでは。これからも願います・26期 ★同期会には多くの方が集まっているようで驚きました・69期 ★全面カラーになり、なつかしい人達がハッキリ見えて嬉しいです・7期 ★今までの如く自由に語り合うが良い・1期 ★孫が中学入学しコーラス部に入りました。ホームカミングデーの記事で練習の様子を知り幸せです・5期 ★校庭や部活の様子などなつかしく拝見しています・8期 ★2月から外出控え公園散歩、しかし2キロ増・21期 ★巣ごもり生活、健康に気をつけ楽しみを見つけ、収束を祈り皆様の健康を祈っています・15期 ★野球部OB、例年予選から応援、今年は春夏秋大会運営されず残念。OB総会母校教室もかなわず、来年こそ! 9期 ★高校HPみて。いずみ会に住所を送りました。届いた会報嬉しく拝見しました・30期 ★会報の配布変更の記事を読みました。運営ありがたいと思います・39期 ★コロナ禍で少し遠ざかりましたが同期は良く集まっています。大泉生は真面目で穏やか大らかな人が多いと感じています・22期 ★いずみ会活動が活発、キッチリしている頼もしい限りです。ご活躍祈り上げます・3期 ★大泉学園に

越して79年。母校の移り行く姿を見るにつけなんと立派で素敵な母校になったのかと思います。木造の校舎が今でも目にうかびます・11期 ★建て替えた母校。会報を読むとまた近くに感じられます。楽しみにしております・62期 ★後輩の活躍ぶりを見る誌面は楽しいものです。我々はemailよりも手に取れるものが実感沸きます・6期 ★会報を家族から「これだけ長く続くのはどうして?」と質問。「大泉とつながっていたい人たちががんばっているのよ」と言いました・11期 ★元気に中高生のバスケットボール指導を続けております・20期 ★27才から始めた硬式テニスを50年以上続けて楽しんでます・13期 ★いずみ会の活動が活発です。今後のご活躍、祈り上げます・3期 ★退職後岡山で元気にすごしています。(岡山議員加藤勝信氏先輩でした)再度東京マラソン参加したい・28期 ★同期理事頑張ってください・32期 ★宇賀なつみさんの母校として円形校舎をみました。とてもなつかしく、世代が違っていても、何か変わらないものがそこに流れているようです・31期 ★「校歌」と「校友歌」懐かしいです。合格発表日は雪の日でした。今も鮮明です。18期 ★元テニス部男子・女子何人かがメール、SNSでつながるようになりました・28期 ★2020年度中止残念、次回のホームカミングデー楽しみです・56期 ★会報で母校の歴史を感じ誇りに思います・11期 ★元バスケット部員よろしく!・20期 ★テニス、水彩画で日々過ごし・18期 ★コロナ禍でも読書は楽しんだ。大泉に年一度は訪ねたい・30期

皆様から寄せられた“声”の一部です。紙面の都合上掲載できなかった“声”はいずみ会HPにて紹介させていただきます。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■先生方

教科	現姓	逝去
理 科	海老根 甲	2021. 3. 15
数 学	山崎 隆一	2020. 7. 28

■会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去
中学1期	濱中 辰夫	2021. 3. 13
中学1期	村上 豊	2020. 11
中学1期	北村 達也	2020. 1. 24
中学1期	稲見 忠典	2020. 9. 30
中学2期	鰐川 省三	2020. 7. 19
高校5期	長谷川 洋一	2021. 4. 21
高校5期	嶋 正彦	2020. 11. 26
高校5期	松岡 五郎	2020. 8. 12
高校6期	矢野 哲郎	2021. 2. 1
高校6期	永江 (安田) 保次	2021. 7. 2
高校7期	小坂 修一	2021
高校8期	角田 富美代	2021. 7
高校8期	戸井田 (川居) 和美	2021. 1. 12

高校8期	吉原 忠雄	2021. 1. 11
高校9期	高木 博明	2021. 2. 18
高校13期	田中 (中井) まりえ	2021. 7. 10
高校13期	関山 満郎	2020. 3. 31
高校13期	前川 益男	2021. 3. 2
高校14期	高木 (館) 登茂子	2021. 1. 10
高校15期	堀 忠雄	2021. 6. 29
高校15期	島村 衛夫	2020. 3
高校16期	青木 (池谷) 光子	2021. 3. 21
高校16期	野口 雄二	2020. 10. 31
高校19期	濱田 國夫	2021. 3. 20
高校19期	平木 秀	2020. 8. 26
高校22期	錦織 (古橋) 晶子	2020. 3. 16
高校25期	柴垣 泰郎	2020. 3. 10
高校27期	曾根田 利忠	2021. 4
高校29期	宮澤 憲一	2020. 10. 19
高校50期	和田 芳仁	2020. 8. 17

人材バンク登録のお願い

いずみ会では学校より依頼を受け、職業講話等に講師を派遣しています。皆さまの経験と知識を後輩のためにお役立ていただき、後輩との交流を体験してみませんか？同時に会員相互の活動にもご協力いただければと考えております。ご協力いただける方は同封の返信ハガキ裏面に詳細をご記入いただきお申し込みください。後日人材バンク部よりご連絡を差し上げます。(5面にキャリア教育活動の様子を掲載しています。)

総務・企画部より

●同期会を開きましょう！

同期会幹事の皆様、いずみ会では同期会開催に際して以下のお手伝いをさせていただきます。

- ①宛名ラベルの作成 ②名札作成 ③名札ケース貸与
- ④同期会開催を会報・HPにてお知らせ
- ⑤校歌・校友の歌音源貸与

特に、初めて開催される期にはご案内郵送費の一部を負担するサービスもあります。この機会に同期会開催を是非ご検討ください。ご相談はいずみ会窓口まで。

●来年は「0」の会

今年の文化祭、ホームカミングデー、総会後の懇親会が中止となったため、「0」の会の皆様(10・20・30・40・50・60・70期)には来年ご活躍いただくことになります。よろしくお願い致します。

同期会開催中止のお知らせ

未だに新型コロナ感染の終息が見込めないことから、今秋に予定していた下記の同期会開催の中止をお知らせします。

高校14期、16期、18期、29期

なお、次回開催予定等の詳細については、いずみ会ホームページをご参照ください。

不要ないずみ会名簿について

いずみ会名簿は個人情報ですので不要の場合の処分に際しては細心の注意を払って行うようお願いいたします。いずみ会では、下記の方法による返却を受け付けています。ご活用ください。

*評議員会・総会へご持参ください

*宅急便・着払いにて下記へ送付ください

〒158-0091 世田谷区中町3-24-8-209

岩崎誠(会員情報部長)

住所変更連絡のお願い

会報発行の他、各期同期会開催のお知らせ、評議員会通知等のいずみ会からの連絡には、現在お住まいの正しい住所の把握が必須です。お住まいが変わられましたら、同封のハガキで、または、いずみ会窓口までご連絡をお願いします。

ホームページ・会報への投稿のお願い

いずみ会報、ホームページは会員相互の情報交換の場です。会員の皆さんの近況、身近な話題、イベント開催の案内、等々、多数お寄せいただけるのをお待ちしております。

ご投稿は izumikai@v7.com まで、また、投稿要領はいずみ会ホームページをご参照ください。

12期(昭和35年卒) 最後の同期会を再延期します

昨年は、新型コロナウイルス感染症により10月12日に開催予定しておりました最後の同期会を1年延期しました。残念ながら今年もコロナ感染が収まりそうもありませんので来年に再度延期します。

来年の開催予定 日時: 令和4年10月12日(水曜日)正午
会場: JR中野駅前中野サンプラザ

12期同期会幹事 板橋

編集後記

☆昨年も書いた「新型コロナ」の感染拡大、1年経った今でもデルタやらラムダと言った新種株の出現で終息の兆しすら見えてきていません。ワクチン接種さえすれば、との期待も新種株の出現で危惧される状況になってきています。☆本号では会員からの生の声を寄せていただきましたが、自粛疲れ、半分諦めの気持ちが言外に滲み出てきています。☆例年以上の猛暑が続いた今年の夏、会議後に喉を潤す店もなく唯々額に汗する編集作業でした。2年続けての総会開催中止、いずみ会員の絆を繋ぐのはこの会報だけ、こんな思いをこめた本号です。☆来年こそ、以前の安全な世の中になって、楽しい記事満載の会報となる事を期待しています。

作った人: 金子研一、浜田光、植村久、田邊夏樹、古畑基樹、荒井眞理子、富井利尚

いずみ会 総会のご案内

2021年度 総会のご案内

2021年度いずみ会総会・ホームカミングデー・懇親会は中止といたします。
「0の会(0のつく期)」の皆様には来年2022年度担当していただくことになります。

「0のつく期の皆様」

前回、集ってから2年目の総会・ホームカミングデー・懇親会の中止が決定されました。コロナ下では、政治のリーダー、メディアの中枢、学校・会社等の責任者、家庭の主婦、全ての人々が「Go or Not Go」を日々決断して行動してきました。本当に大変な2年間でした。遅い、早いの評価はあるものの、ワクチンが行きわたり、治療法の確立が図られ、ポストコロナの新しい生活様式も間もなく共有されるものと信じます。

いよいよ来秋は、3年目のいずみ会総会・ホームカミングデー・懇親会を開きましょう。現役の皆さんを激励出来て、集うOB・OGの皆さんがこの間の苦労をねぎらい、明るい笑顔を交換できる会にいたしましょう。皆様の積極的なご参画をお願いいたします。

「0の会」会長 関屋 収 (高20期)

いずみ会会長 荒井 眞理子 (高20期)

高72期の皆さん

2022(令和4)年に成人式を迎えられる高72期の皆さん、少々早めですが、おめでとうございます。コロナウイルス感染症の影響で成人式自体どのようなようになるか不明ですが、開催できる！事を前提に、皆さんが2年ぶりに集う会を、母校・PTA・いずみ会が応援させていただきます。開催の場合は12月初めに詳細を高72期幹事よりお送りします。楽しい会ができますように！！

いずみ会 窓 回

〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
e-mail : izumikai@v7.com 総務・企画部長 真柳 仁(高24期)

*会費・寄付⇒会計部 *HP掲載希望、投稿等⇒HP部
*会報投稿等⇒会報部 *人材バンク登録等⇒人材バンク部
*住所変更・逝去連絡・宛名シール希望等⇒会員情報部
*その他のご質問・ご意見・いずみ会室利用申し込み⇒総務・企画部

■ いずみ会年会費の銀行振込による納金も可能です。

- 振込先
三井住友銀行 武蔵関(ムサシセキ)支店 普通口座
口座番号 No.6864113「いずみ会会計部長山口達夫」
- 振込者名
(例) K200649 オオイズミ タロウ
必ずお名前の前にIDをつけてください。
(会員IDはゆうちょ払込票で確認できます。)
- 振込手数料はご負担願います。